

科目名 Course Name	生活の中の数学 Accessible Mathematics			ナンバリング No.	A1-012		
年次	1年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	小林大輔						
連絡方法	C-ラーニングで対応、または講義棟1F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2, DP3, DP4						
授業の概要と 到達目標	日常生活の中で積極的に数学的な思考をすることが、就職試験で出題される数学の問題を解く際に役立つ。本講義では採用試験で出題される数学全般にわたって学習する。 ①記号を含んだ数式を計算できるようにする。 ②1次・2次方程式を解くことができるようにする。 ③平面・空間図形の問題を解くことができるようにする。 ④資料の整理ができるようにする。						
授業の方法	解き方の工夫などについて教員と学生間で意見を出し合いながら講義と演習を繰り返す。						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	採用試験で出題される数学の問題を解くことができる。					
	L04						
課題に対する フィードバック	小テストは試験後に模範解答を示し、試験結果は授業内に各自にフィードバックする。						
教科書/ 参考図書	教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布する。						
履修上の留意点 やルール等	演習中の私語は慎むこと。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度					
レポート/作品					
発表					
小テスト					
試験	評価の基準は以下の通り。S:90%以上、A:80%以上、B:70%以上、C:60%以上、D:60%未満			100	
その他					
合 計					100

回数		授業計画
1	授業内容	数の概念
	事前・事後学習	練習問題①
2	授業内容	式と計算
	事前・事後学習	練習問題②
3	授業内容	有理数
	事前・事後学習	練習問題③
4	授業内容	実数 小テスト①
	事前・事後学習	練習問題④
5	授業内容	方程式と不等式 小テスト①の解説
	事前・事後学習	小テスト①の復習
6	授業内容	図形の性質
	事前・事後学習	練習問題⑤
7	授業内容	関数 1
	事前・事後学習	練習問題⑥
8	授業内容	関数 2
	事前・事後学習	練習問題⑦
9	授業内容	様々な関数 小テスト②
	事前・事後学習	練習問題⑧
10	授業内容	三角関数 小テスト②の解説
	事前・事後学習	小テスト②の復習
11	授業内容	場合の数
	事前・事後学習	練習問題⑨
12	授業内容	数列
	事前・事後学習	練習問題⑩
13	授業内容	極限
	事前・事後学習	練習問題⑪
14	授業内容	微分
	事前・事後学習	練習問題⑫
15	授業内容	積分 小テスト③とその解説
	事前・事後学習	小テスト③の復習